

(第 1 面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 6 月 1 9 日

大分県知事 佐藤 樹一郎 殿

提出者

住 所 大分県佐伯市弥生大字江良1068-1
氏 名 株式会社 風戸工務店
代表取締役 風戸 幹 生
電話番号 0 9 7 2 - 4 6 - 0 0 6 7

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

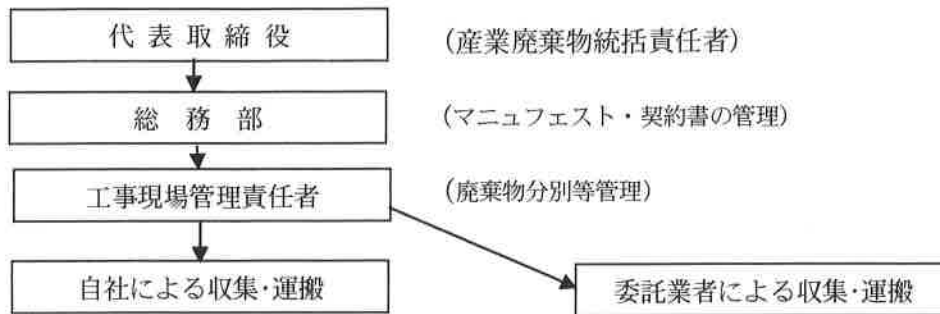
事業場の名称	株式会社 風戸工務店
事業場の所在地	佐伯市弥生大字江良 1 0 6 8 - 1
計画期間	令和 5 年 4 月 1 日 ~ 令和 6 年 3 月 3 1 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業 総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 : 7.4 億円
③ 従業員数	1 0 人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	



(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） アスファルト殻、コンクリート殻、木くず、鉄くずは 中間処理業者に委託し再生材として再資源化。 民間解体工事に於いて発生する、建設木材は需要があれば (古民家・リフォーム等) 再利用する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 現状と同様。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現場内において分別処理、再生利用できる物は可能な限り再生利用する。（民間発注による解体工事は機械併用人力（手壊し）にて施工し廃棄物の種類を細別している）。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状と同様。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	（これまでに実施した取組） 工事現場で使用した木製型枠は、可能な限り再利用している。 民間解体工事に於いて発生する（梁、柱等）再利用可能な木材を倉庫内に保管するようにしている。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.1 t	t
	（今後実施する予定の取組） 民間工事に於いて発生する建設木材は需要があれば（古民・リフォーム等）再利用する。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 実施していない。		
② 計画	【目標】 計画なし		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 実施する予定はない。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 実施していない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 実施する予定はない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 適正処理を行っている業者を選定し、作業所毎に委託契約を行っている。		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状と同様。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和４年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	コンクリート	アスファルト	木くず	廃プラ	ガラス、コンクリ 陶磁器くず	繊維くず	金属くず	紙くず	燃え殻
	排出量（ｔ）	69.49	26.98	895.18	3.53	11.42	0.6	5.65	0.85	0.68
	（これまでに実施した取組） アスファルト殻、コンクリート殻、木くず、鉄くずは 中間処理業者に委託し再生材として再資源化。 民間解体工事に於いて発生する、建設木材は需要があれば （古民家・リフォーム等）再利用する。									
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	コンクリート	アスファルト	木くず	廃プラ	ガラス、コンクリ 陶磁器くず	繊維くず	金属くず	紙くず	燃え殻
	排出量（ｔ）	65.00	25.00	890.00	3.50	10.00	0.50	5.00	0.50	0.50
	（今後実施する予定の取組） 現状と同様									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和４年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	コンクリート	アスファルト	木くず	廃プラ	ガラス、コンクリ 陶磁器くず	繊維くず	金属くず	紙くず	燃え殻
	全処理委託量（ｔ）	69.49	26.98	895.18	3.53	11.42	0.6	5.65	0.85	0.68
	優良認定処理業者への 処理委託量（ｔ）	4.18	0	1.38	0.47	0	0	0.03	0.04	0
	再利用業者への 処理委託量（ｔ）	65.31	26.98	893.80	3.06	11.42	0.6	5.62	0.81	0.68
	（これまでに実施した取組） 適正処理を行っている業者を選定し、 作業所毎に委託契約を行っている。									
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	コンクリート	アスファルト	木くず	廃プラ	ガラス、コンクリ 陶磁器くず	繊維くず	金属くず	紙くず	燃え殻
	全処理委託量（ｔ）	65.00	25.00	890.00	3.50	10.00	0.50	5.00	0.50	0.50
	優良認定処理業者への 処理委託量（ｔ）	5	0	1.5	0.5	0	0	0.05	0.05	0.00
	再利用業者への 処理委託量（ｔ）	60.00	25.00	888.50	3.00	10.00	0.50	4.95	0.45	0.50
	（今後実施する予定の取組） 現状と同様									